

# 検証結果

## ◆ 制度導入効果

全ての施設において「サービスの向上」と「経費の節減」を実現

## ◆ 抽出した主な課題

市が求めるサービス水準と指定管理料との適正性

全市的に公平なサービスを提供すべき施設におけるサービス内容のバラつき

# 選定方法の特徴

- I 施設特性に応じた2つの選定方法の導入
  
- II 選定基準の統一



# I 施設特性に応じた2つの選定方法の導入

## ① 稼働率の増加を重視する施設

特性	利用者が特定されない施設であり、不特定多数の者が利用し、稼働率向上に結びつくサービス向上策と経費節減策を講じていくことを求める施設
施設例	市民会館、運動施設、市営駐車場など
選定手順	<p>市が定めた要求水準に対する団体の能力・提案事業の内容と提案金額を合わせた評価を行う。</p> <p>ア 「価格評価」を算出式に基づき所管課が行う。</p> <p>イ 「団体の能力評価」「提案事業の内容評価」については、専門家の意見を聴取した上で、所管課が評価する。</p> <p>ウ 所管課が「価格評価」「団体の能力評価」「提案事業の内容評価」を総合的に判断し、指定管理者候補者を決定する。</p>



# ① 稼働率の増加を重視する施設

価格評価

団体の能力評価

提案事業の内容評価

総合的に評価



## ② 安定したサービスの提供を重視する施設

特性	利用者が申込み等により特定される施設や、市の要求水準を満たすサービスを安定的に提供することを求める施設
施設例	学童保育所、公立保育園、障害者療育センターなど
選定手順	<p>市の要求水準に対する団体の能力・提案事業の内容を評価した上で、合格基準を満たす事業に対して提案金額の評価を行う。</p> <p>ア 「団体の能力評価」「提案事業の内容評価」については、専門家の意見を聴取した上で、所管課が評価し、合格基準を満たした事業者を選出する。</p> <p>イ アで選出された事業者の提案金額について評価し、指定管理者候補者を決定する。</p>

## ② 安定したサービスの提供を重視する施設

団体の能力評価

提案事業の内容評価

市の要求水準を満たす事業者を選定

価格点で評価

## Ⅱ 選定基準の統一

### ① 配点割合

評価区分	割合
価格評価	50%
団体の能力評価	25%
提案事業の内容評価	25%



#### ポイント

制度導入の目的である「市民サービスの向上」と「経費の節減」を図るためには、「民間事業者の提案」と「市の求めるサービスの水準」の価格に対するバランスが重要である。

能力評価と価格評価の適正性を確保するために、契約における総合評価を参考として、価格評価を全体の50%に設定した。



## ② 合格基準

### 基準

全ての評価項目において、市の要求水準を満たす  
獲得点は満点の6割(市の要求水準を6割と設定)



### ポイント

公の施設として、市の求める水準の確保は必須であるため、合格基準は全ての評価項目において、要求水準を満たすことを条件としている。

また、収支計画や事業計画の確実性を担保するため、税理士をはじめとした財務の専門家からの意見聴取を必ず実施している。





# 効果

- ・市の要求水準の明確化による指定管理料の適正化

  - ⇒施設の設置目的を最も効果・効率的に達成する事業者が管理運営を実施

- ・選定基準・方法の統一

  - ⇒透明性・公平性の高い選定事務の実現

